

意見書

令和2年12月8日

小矢部市外部評価委員会

令和2年12月8日

小矢部市長 桜井森夫様

小矢部市外部評価委員会

委員長 石崎誠也



令和2年度小矢部市外部評価委員会意見書の提出について

小矢部市外部評価委員会（以下「委員会」といいます。）は、小矢部市の行政執行に関し、市民等による行政外部の視点を確保し、評価の客観性・信頼性を高めることを目的として設置されているものです。

本年度は、小矢部市が令和元年度に執行した事業の中から4事業を選択し、2回にわたって評価を行いました。

各事業の評価結果は別添のとおりですが、今後、市当局におかれましては、新年度の予算編成等に当たっては評価結果を参考の上、市民の理解を得て適切な行政執行に当たられるようお願いいたします。

なお、個別事業評価とは別に、今回の委員会で特に重点的に議論となった点については下記のとおりですので、併せて付記いたします。

記

〇ごみ減量化及び再生利用推進事業

本事業は、一般廃棄物の再資源化及び減量化を進め、限りある資源の有効利用を図るとともに、地球環境の保全をはじめ、自然と調和した循環型社会の形成を目的としているものである。

担当課の説明にもありましたが、年々、処理量増による処理費用が増加していることは市の財政を圧迫することにもつながり、費用の抑制は喫緊の課題といえる。一方で、処理量が増えていることは再資源化が進んでいるとも捉えることができ、ごみの減量化と再生利用推進は相反することになるが、今日の大量生産、大量消費、大量廃棄の商品

生産や販売方法を考慮すれば、再生利用推進の方に力を入れるべきである。その上で、費用対効果の検証や、歳入を増やす方法などを検討していく必要がある。

○観光推進事業

小矢部三大祭、三大イベント及び市観光協会への助成や、首都圏や関西圏への出向宣伝などを通して、小矢部市の魅力発信と誘客促進を図っている事業である。

多くの委員から意見がありましたが、魅力的な祭やイベント、自然景観等が小矢部市にはあるので、その情報発信に力を入れていくことが大切である。コロナ禍により祭やイベントの形が変わっていくことも予想されるが、情報発信の仕方もよりSNSなどを活用したものにしていくべきである。ただし、情報発信に係る予算にも限度があるため、市としてどの分野を主軸に情報発信や観光推進を図っていくのかを見定める必要がある。

1 小矢部市外部評価委員会の構成

職名	氏名
委員長	石 崎 誠 也
委員	川 原 久 俊
委員	河 合 千 枝 子
委員	柴 田 昭 浩
委員	酒 井 安 子
委員	加 藤 里 美

2 小矢部市外部評価委員会の開催実績

回	期日	評価対象事業
第1回	令和2年11月12日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ごみ減量化及び再生利用推進事業・英語教育推進事業
第2回	令和2年11月19日(木)	<ul style="list-style-type: none">・特産物振興事業・観光推進事業

3 評価結果

事務事業名 担当課名	評価番号	今後の方向性・コメントなど
ごみ減量化及び再生利用推進事業 生活環境課	21 現行どおり進めることが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり事業を進めることが望ましいが、費用が毎年増加している事もあり、費用の抑制に努める必要がある。今日の商品生産・販売の状況を鑑みるならば、市としては再生利用推進事業に重点を置くべきである。その上で、市民への啓発・宣伝を強め、処理費用との費用対効果のバランスを検討したり、歳入を増やすことも考えるべきである。 ・リサイクル率を少しでも上げるために、自治会や地区婦人会等が取り組んでいる資源回収をこれからも続けていくことも必要であり、今後も、リサイクル事業についての取組みについて普及・啓発することが大切である。
英語教育推進事業 教育総務課	21 現行どおり進めることが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ・小矢部市でも多くの外国の方が働いておられる今日、受験のためだけの英語ではなく、生きた英語を学ぶこと、正しい発音を聴き取ること、異文化に触れることは子供たちにとっても重要であり、英語教育の充実は市の重要な施策として維持することが望ましい。また、県配置では不足する分を補う、「市英語専科講師」を配置し、他市よりも予算を足かけているとのことだが、子供たちの英語教育にどのような効果が生まれているのか、客観的に判断できる資料があれば良い。また、「おやべで暮らそう」等の小冊子にも、教育に力を入れている旨のPR等を通じて、当該事業の政策と成果を市内外に知らせるべきである。
特産物振興事業 農林課	21 現行どおり進めることが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者の増加など取組み成果が見られるが、経済的成果を明確にし、当該事業の効果を分析する必要がある。 ・農業特産物推進協議会が作成した「おやべ特産品」のパンフレットに記載の品物と「小矢部ブランド」で類似しているものや、重複しているものが多々あり、統一を図ることも検討してはどうか。また、立派なパンフレットやホームページもあるので、ネット販売なども検討していただきたい。今後さらにブラッシュアップしていくことも必要で、儲かる農業として第6次産業化の取り組みを行い、他産業との連携を図り、高齢化・後継者不足等の諸問題の解消を目指していただきたい。
観光推進事業 商工観光課	21 現行どおり進めることが望ましい	<ul style="list-style-type: none"> ・元年度に取り組んだ観光PR映像制作事業はドローンで撮影した映像が盛り込まれており大変良かった。こうした小矢部市の良さ、自然豊かなところなどを、SNSを活用して、魅力をアピールする必要がある。三大祭や観光客の誘客、イベントの宣伝にしてもネット配信等に力を入れて行くべきである。アウトレットの来場者を市内の祭り、イベント等への参加に結びつけるための施策を進めていただきたい。一方で、市として何を主軸（祭、自然、歴史、イベントなど）に魅力発信していくかなど観光推進のため重点的課題を見定める必要がある。

《評価番号の凡例》

1 廃止すべき	11	事業を廃止すべきである
	12	事業を終了すべきである
	13	事業の役割が終了している
2 現行どおり実施	21	現行どおり進めることが望ましい
3 現行で実施することが適当であるが、事業内容や規模の見直しが必要なもの	31	事業内容の抜本的な見直しが必要である
	32	事業効率化などの事業内容の改善を図る必要がある
	33	事業統合、あるいは段階的廃止が必要である
	34	事業規模の縮小が必要である
	35	事業規模の拡大が必要である
	36	他の機関（国・県）へ事業を移管する必要がある
4 民間活力の活用方法の見直しが必要なもの	41	民間委託を検討すべきである
	42	民間委託を実施すべきである
	43	民間委託の対象を拡大すべきである
5 民間が実施すべきもの	51	民間が実施するほうが効果的・効率的である